

Step1

基礎的なことを
理解できている

Step2

運用方針を設計し
社内へ周知できている

Step3

Good活用パターンを
構築できている

Step4

Better活用パターンへ
挑戦できている

Step5

Best活用パターンへ
挑戦できている

Step6

現場で自走した
チーム作りができている

現在、あなたの組織はどのフェーズ？
実名利用編

【wevox活用度マップ】



Step1

基礎的なことを
理解できている

wevox基礎知識を事務局が理解し、社内に説明できる状態になっている

Step2

運用方針を設計し
社内へ周知できている

サーベイ形骸化を防ぐための“プロジェクト設計”ができおり、社内と共通認識が取れている状態

Success Kitの作成

Step3

Good活用パターンを
構築できている

自社におけるGood活用パターンを構築し、適切な対象へサポートをできている状態

※Good活用パターン：結果データを元に、適切な対象へ個別面談が実施できている。

Step4

Better活用パターンへ
挑戦できている

事務局がフォローするだけでなく、様々な形で結果データが活用されている状態

※セルフケア/現場メンバー間での対話/1on1での活用/採用・育成への活用 等

Step5

Best活用パターンへ
挑戦できている

現場のマネージャーを巻き込み、いい職場づくりへの取組みを開始できている状態

※根本解決へ向け、現場側でのエンゲージメント向上サイクルの実践を開始 等

Step6

現場で自走した
チーム作りができている

事務局の支援がない状態でも、現場が自走して、wevoxを活用した職場改善を実行できている状態



状態	Step1	Step2	Step3	Step4	Step5	Step6
	基礎的なことを理解できている	運用方針を設計し社内へ周知できている	Good活用パターンを構築できている	Better活用パターンへ挑戦できている	Best活用パターンへ挑戦できている	現場で自走したチーム作りができている
詳細	☐ wevox基礎知識を事務局が理解し、社内に説明できる状態になっている	☐ サーベイ形骸化を防ぐための“プロジェクト設計”ができており、社内と共通認識が取れている状態 ☐ Success Kitの作成	☐ 自社におけるGood活用パターンを構築し、適切な対象へサポートをできている状態 ※Good活用パターン：結果データを元に、適切な対象へ個別面談が実施できている。	☐ 事務局がフォローするだけでなく、様々な形で結果データが活用されている状態 ※セルフケア/現場メンバー間での対話/1on1での活用/採用・育成への活用 等	☐ 現場のマネージャーを巻き込み、いい職場づくりへの取組みを開始できている状態 ※根本解決へ向け、現場側でのエンゲージメント向上サイクルの実践を開始 等	☐ 事務局の支援がない状態でも、現場が自走して、wevoxを活用した職場改善を実行できている状態
経営陣		☐ プロジェクト概要の把握 ☐ 経営陣からの社内への発信（推奨）	☐ プロジェクト実施状況の把握	☐ プロジェクト実施状況の把握 ☐ 事務局との連携開始	☐ プロジェクト実施状況の把握 ☐ 全社的な取り組みに向けた協力	☐ プロジェクト実施状況の把握 ☐ 事務局、現場への経営視点での協力/支援
事務局 (推進チーム)	☐ 基礎知識の理解 ☐ wevoxの操作方法（メンバーサポート機能含む） ☐ スコアの見方/捉え方 ☐ エンゲージメント向上サイクル	☐ 結果データをもとにしたフォロー体制ができている ☐ フォロー体制 ☐ 判断基準(スコア/メンバーサポート機能/コメント機能) ☐ フォロー方法(個別面談/電話/メール・チャット等)	☐ 結果データをもとにしたフォローができている ☐ 状況に応じてフォロープラン・体制の見直し ☐ フォローのノウハウをシェア	☐ 結果データを様々な形で活用できている ☐ 回答側に開示しセルフケアへの活用 ☐ 個人結果データをメンバー間対話や任意の1on1へ活用 ☐ フォローの中で、共通する課題を抽出し、採用/育成領域に活用	☐ 現場への介入開始 ☐ 管理職へマネジメントチームの結果データを展開（チーム全体へサーベイ対象を拡大、結果の閲覧権限付与） ☐ 縦と横の関係性向上を目指し、 ☐ エンゲージメント向上サイクルのチーム運用開始	☐ 現場の活用状況を把握し、活用の支援 ☐ 活用状況を定期的に認知できる体制の構築（アンバサダー同士のレポート体制構築 等） ☐ Good活用事例の継続的な社内展開 ☐ 現場のうまく活用できない理由を掴い上げ、相談に乗る
現場		☐ 取組への理解	☐ 回答	☐ 自身の結果による内省・振り返り ☐ 信頼できるメンバーや上司とスコアを交えた対話	【チーム運用体制ができている状態】 ☐ 基礎知識の理解 ☐ スコアの見方や捉え方の理解 ☐ エンゲージメント向上サイクルの理解 ☐ レベル別の対話方法の理解 ☐ スコアを元に振り返りを実施 ※相互理解系ワークでも可 ☐ 自チームがwevoxに取り組む意義を見出せている ☐ 現場版Success Kitの作成 ☐ 事務局への取り組み報告（wedo/簡易的なレポート）	【チームの理想追求へ】 ☐ 自チームを理想状態に到達するためのwevox活用が継続的にできている。evox活用が継続的にできている。